【生徒事前事後アンケート】

アンケートの実施

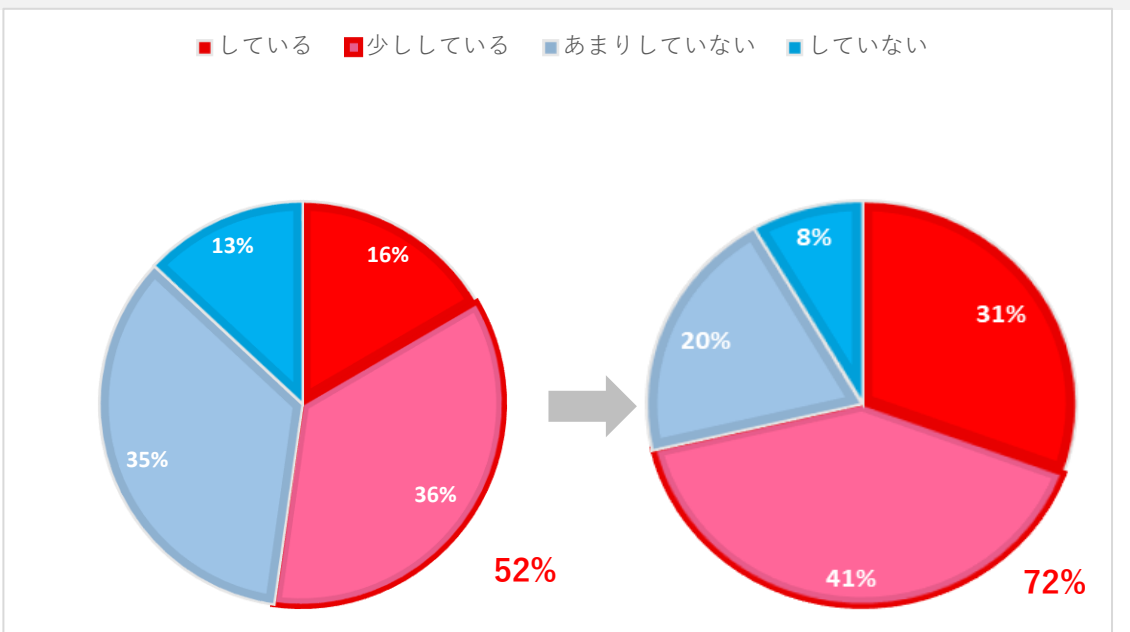
目的：この事業の効果を測るため生徒（事前・事後）、教員（事前・事後）、企業講師（事後）へアンケートを実施した。

実施方法：昨年度同様、各校のGIGAスクールの取り組みも視野に入れて、グーグルフォームで実施した。

1．生徒アンケート

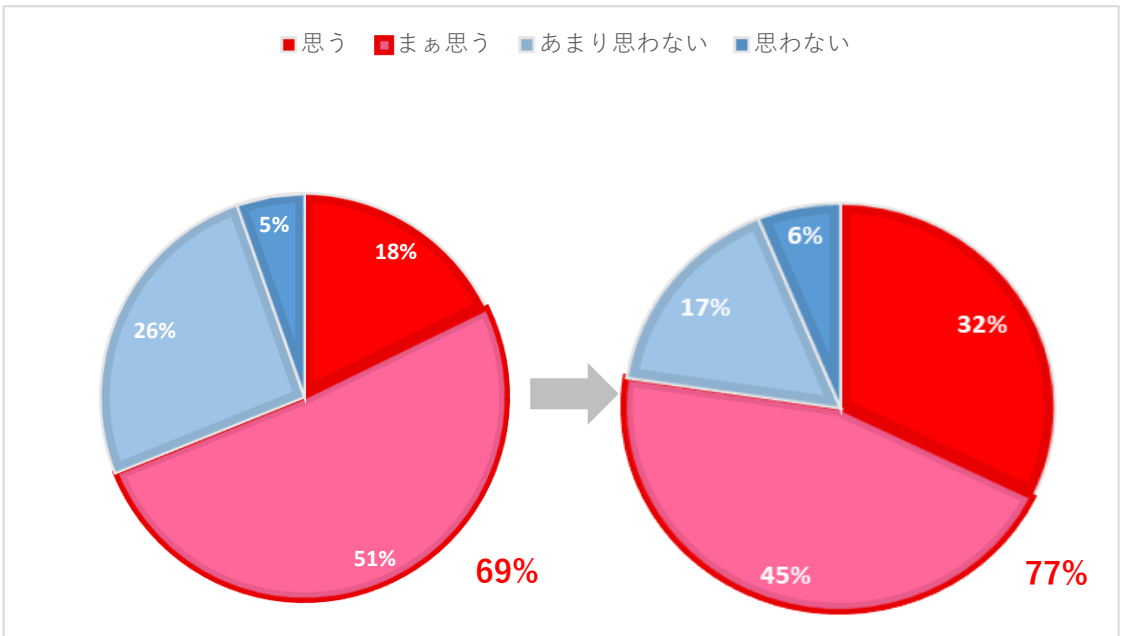
番号	設問	関連する基礎的汎用的能力
（1）	自分の住んでいる糸満市のことについてよくわかり、地域の活動や人に関わろうとしていますか？	人間関係形成・社会形成能力
（2）	学校の授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？	自己理解・自己管理能力
（3）	「もっと知りたい」と思うことは自分から調べたり質問したりしていますか？	課題対応能力
（4）	みんなと一緒に何かをするときに、その中で自分の役割を理解して行動できますか？	人間関係形成・社会形成能力
（5）	友達（相手）の意見を聞き、自分の意見をわかりやすく伝えることが出来ますか？	人間関係形成・社会形成能力
（6）	将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？	キャリアプランニング能力
（7）	いま、自分が「好き」なことや「興味・関心」がある事が見つかっていますか？	自己理解・自己管理能力
（8）	地域社会の中で自分の能力が何かに役に立つと思いますか？	自己理解・自己管理能力

（1）自分の住んでいる糸満市のことについてよくわかり、地域の活動や人に関ろうとしていますか？



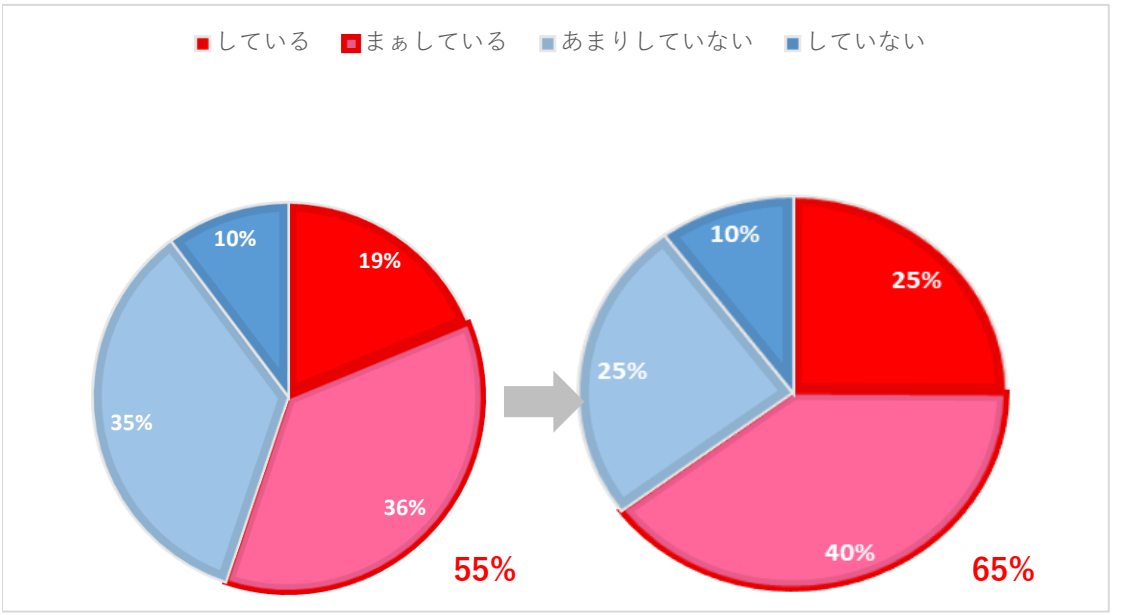
事前　N＝584　　事後　N＝551

（2）学校の授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？



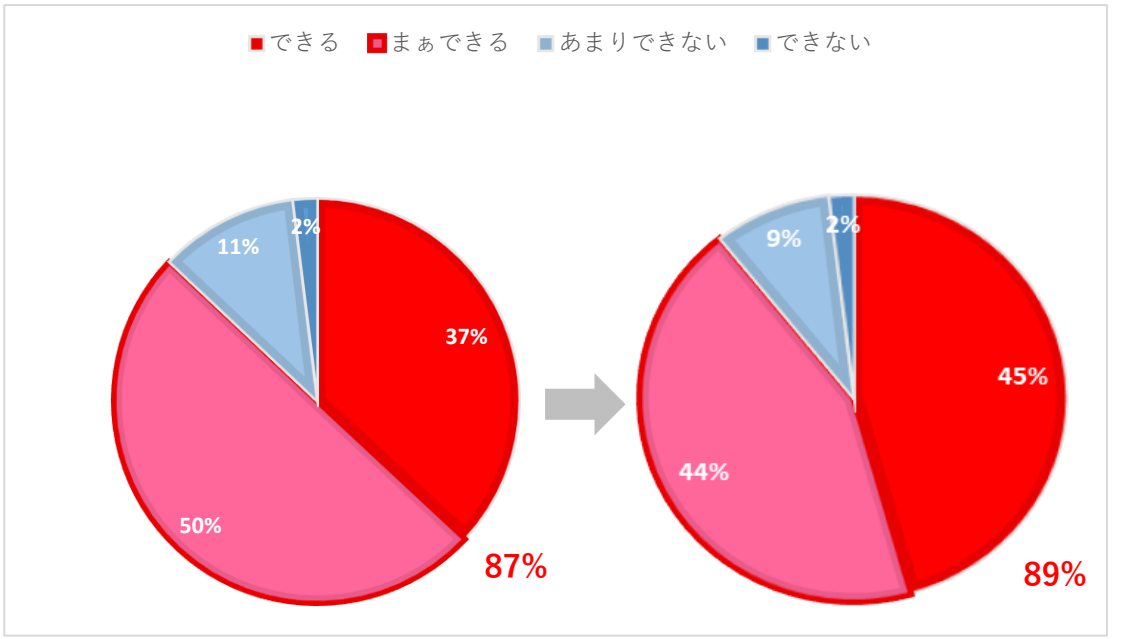
事前　N＝579　　事後　N＝552

（3）「もっと知りたい」と思うことは自分から調べたり質問したりしていますか？



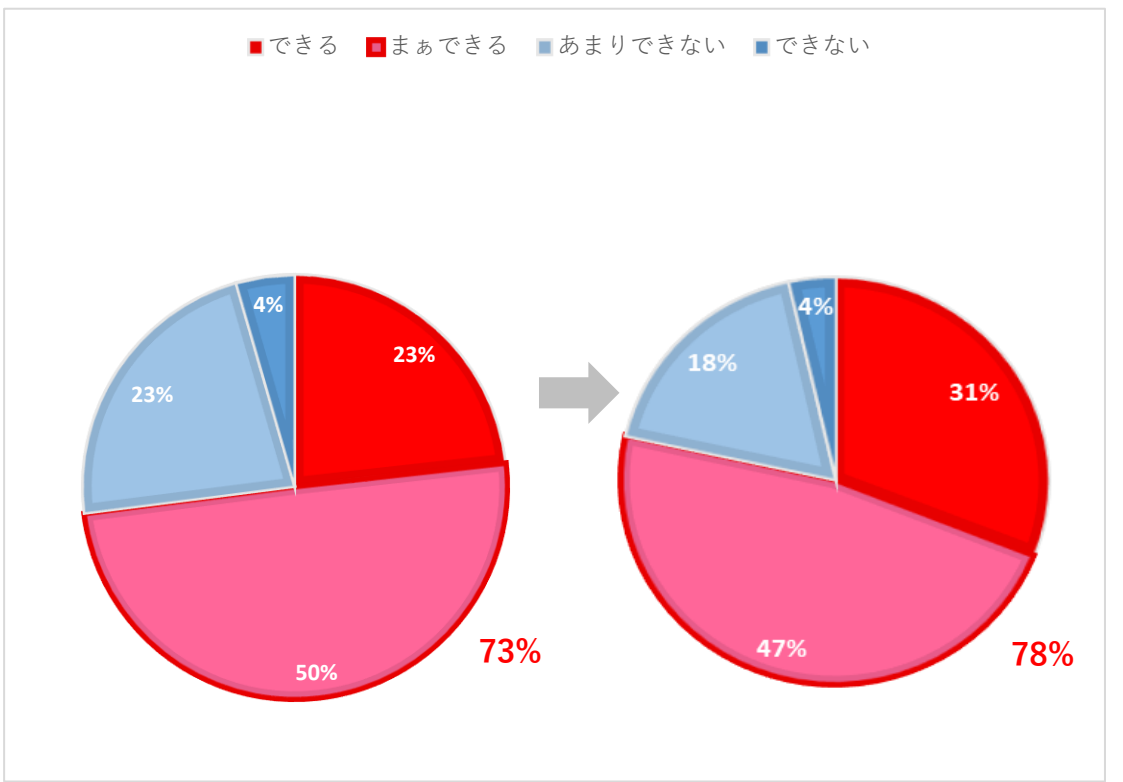
事前　N＝580　　事後　N＝550

（4）みんなと一緒に何かをするときに、その中で自分の役割を理解して行動できますか？



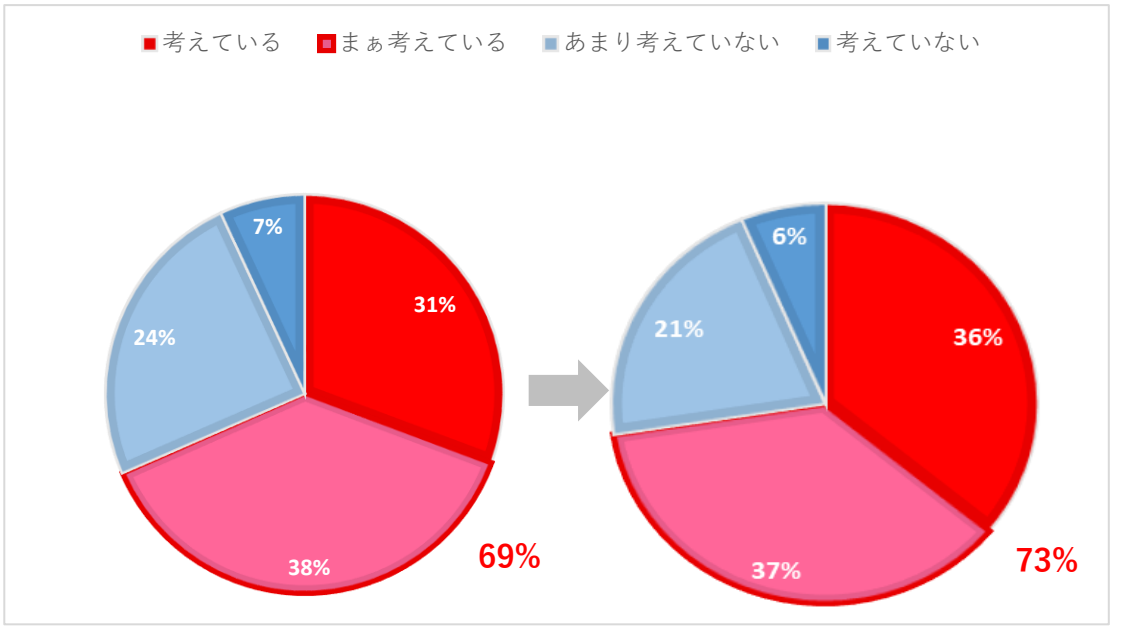
事前　N＝579　　事後　N＝550

（5）友達（相手）の意見を聞き、自分の意見をわかりやすく伝えることが出来ますか？



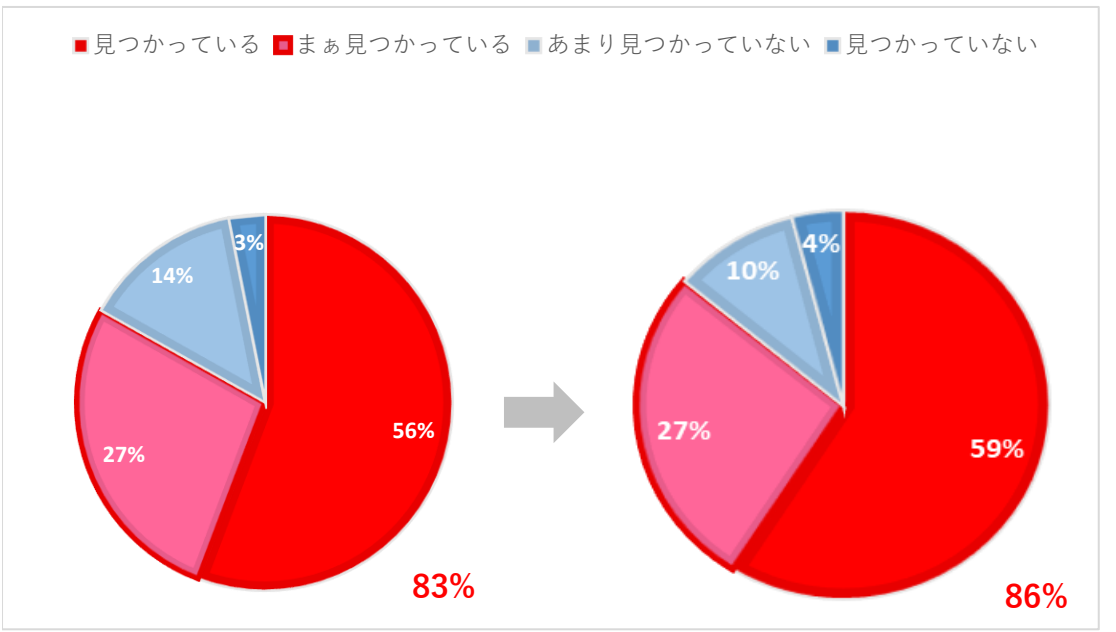
事前　N＝581　　事後　N＝548

（6）将来の夢や目標に向けて、今しなければならないことを考えていますか？



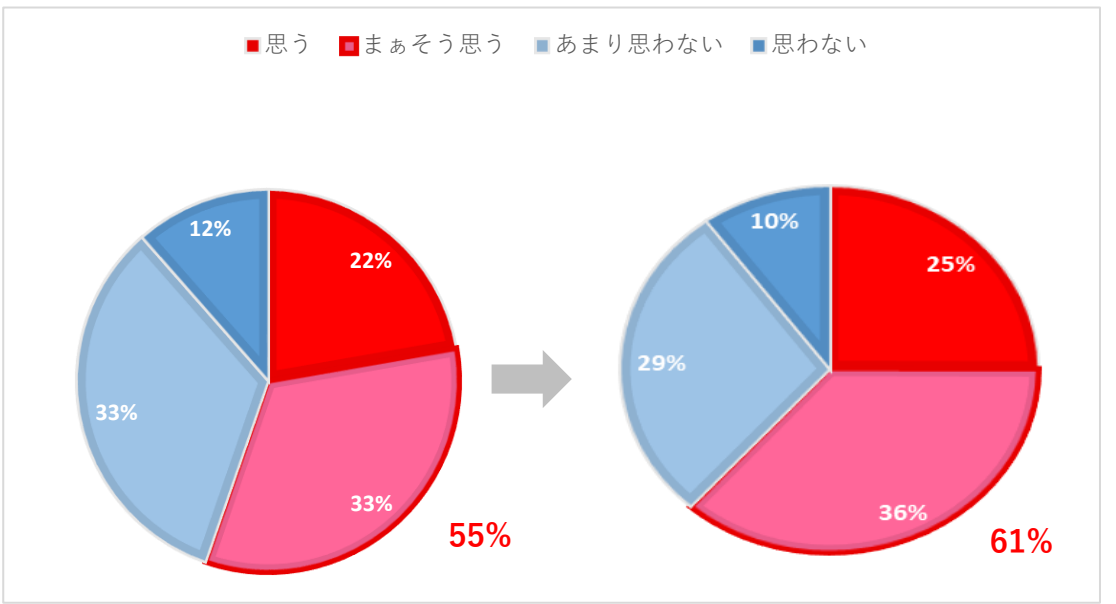
事前　N＝577　　事後　N＝550

（7）いま、自分が「好き」なことや「興味・関心」があることが見つかっていますか？



事前　N＝581　　事後　N＝551

（8）地域社会の中で自分の能力が何かの役に立つと思いますか？1つだけマークしてください。



事前　N＝584　　事後　N＝551

【PBL授業生徒の振り返り】

1年生

・実際の企業の方にアドバイスをもらい、もっといいものにするという経験は初めてだったので自分が思っていたより難しかったけれどとても楽しかったです。

・企業講師の方からミッションをもらって自分たちで初めからでーまや取り組みを考えるのは難しかったです。でも糸満の魅力を考えながらきぎょぷとコラボするのは楽しかったです。これからもこういう機会があれば精いっぱい頑張りたい。

・今回のPBL授業を終えて、みんなの発表がすごく良かった。自分たちもなかなかいい出来だった。また、内容をグループみんなで調べたり、考えてまとめたりすることでグループみんなの仲が深まったと思いました。
・私はプレゼンテーションを作るのが苦手だったけど、得意な人に聞きながら少しだけ分をつくることが出来ました。今回のPBL授業でプレゼンテーション能力や説明力が身につきました。
・この授業を終えて改善点がまだまだある事が知れたので、次回同じような授業があればレベルアップさせたい。
・他グループの発表を聞き、さまざまな面からミッションを考えてみることができ見方が広がった。
・このPBLを通して２つのことを学びました。一つはプレゼンでの「根拠や理由」の大切さ。２つ目はグループで「協力」することの重要さです。

２年生
・改めていろんな人の案と接するのは面白いと思った。話し合いの面白さを感じた。いろいろな人の案に耳を傾けて案を合体していいものが出来た。
・スライドを作ったりプレゼンするのがなんだか会社みたいで就職して役に立ちそうだと思った。
・授業を進めるにつれ内容が良くなっていくのを実感した。自分から案を出すことも増えたし、これを使う人の気持ちになることもできた。実際にアンケートをとって実現可能な案に近づいた。
・自分なりに上手にプレゼンスライドを作れたと思っても発表してみると他のグループはスライドの数を増やして文字を少なくわかりやすくしたり、図や表、自分たちで撮った動画などの工夫を凝らしていたので少し悔しかった。３年生になったらわかりやすい　プレゼンテーション作りとお題に適した意見を出す力をつけたいなと思いました。
・グループの中でどんな困難も乗り越えました。今回を通して感じたことは全力で楽しみ、全力で取り組んだからこそいい結果になったとおもいます。
・企業の困ったを通して、みんなの考えを知ることが出来たり、グループで協力することができた。講師のお二人には中間発表でも、最終発表でもいいところも悪いところも正直に伝えてくれたので訂正もしやかったです。

【生徒アンケート結果より】
・（１）～（８）すべての項目で肯定的な回答の増加がみられた。
・特に変化が大きかったのは以下の４項目
（１）自分の住んでいる糸満市のことについてよくわかり、地域の活動や人に関ろうとしていますか？
（している・少ししている：52%→72%　20%UP）

（２）学校の授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？
（思う・まぁ思う：69%→77%　8%UP）

（３）「もっと知りたい」と思うことは自分から調べたり質問したりしていますか？
（している・まぁしている：55%→65%　10%UP）

（８）地域社会の中で自分の能力が何かの役に立つと思いますか？
（思う・まぁそう思う：55%→61%　6%UP）

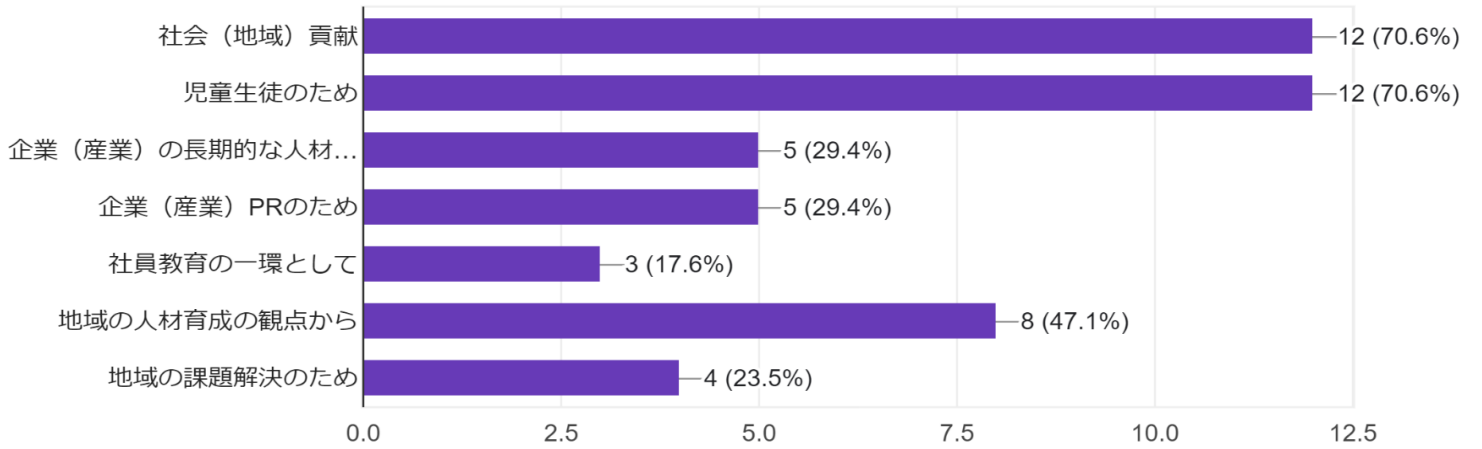
番号	設問	関連する基礎的汎用的能力
（１）	自分の住んでいる糸満市のことについてよくわかり、地域の活動や人に関わろうとしていますか？	人間関係形成・社会形成能力
（２）	学校の授業で学んでいることを「もっと知りたい」と思いますか？	自己理解・自己管理能力
（３）	「もっと知りたい」と思うことは自分から調べたり質問したりしていますか？	課題対応能力
（８）	地域社会の中で自分の能力が何かに役に立つと思いますか？	自己理解・自己管理能力

このことから、今回の授業では基礎的汎用的能力の中でも「人間関係形成・社会形成能力」と「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」の育成に成果があった。地域企業のミッションに取り組みチームでプレゼンをやり切るという経験で生徒の自己有能感・自己肯定感が高まり「やればできる」と考えて行動できる力が伸びたのではないだろうかと考える。今年度は特に「自分たちなりの答えを模索する中で、根拠を得るためのアクションを起こしてみる」ことに各校チャレンジしたので、いろいな角度から課題に向き合う経験（失敗も含め）になったのではないだろうか。
昨年度も同じ内容のアンケートを実施しているが、違いは（２）（３）の数値の上がり具合である。「答えのない問い」に自分たちで取り組みことを通して今年はより、「問題点に対するアプローチの仕方」を学ぶ経験ができたのではないかと考える。

【企業講師事後アンケート】

（１）糸満市のPBL授業の企業講師を承諾された理由を教えて下さい。（複数回答可）

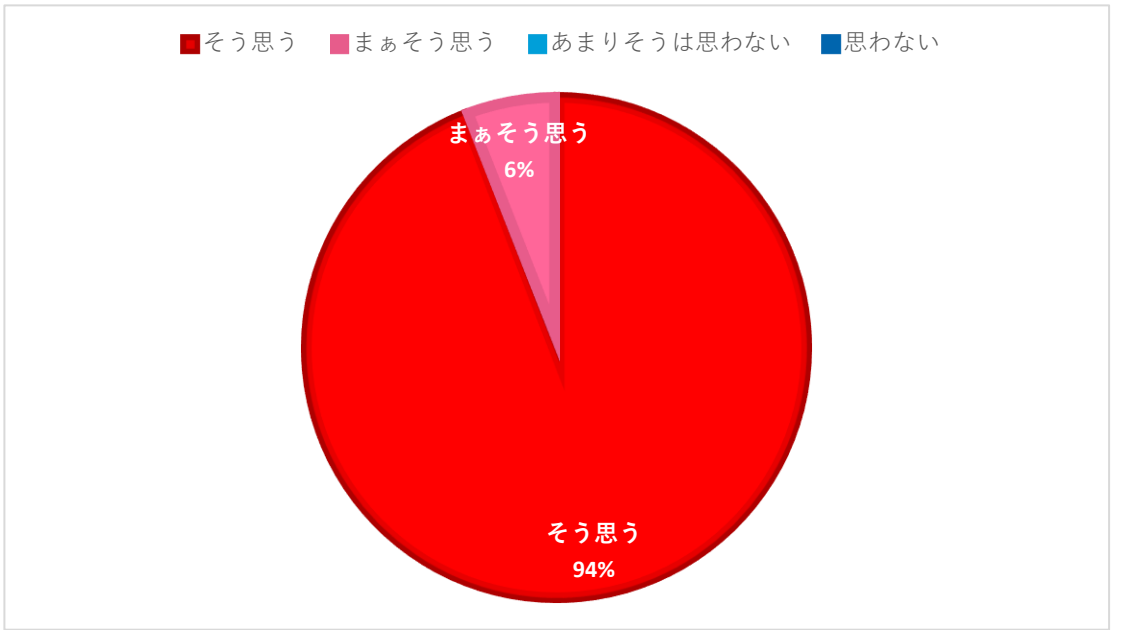
17 件の回答



【その他の理由がありましたらご自由にお書きください】

・自分自身のできることを広げたいと思ったため。
・建設業の魅力も伝えたい。
・学習アプリをつくっているので、中学生の年代の子たちが何を考え、どういう志向なのか、興味があった。
PBLの取り組み自体にも興味があった。
・糸満市に読書文化を広げるために中学生のアイデアを聞きたかった。
・事業目的が、人間教育（体験ファーム）。
・とにかく、若い人には、色々な経験、地域の伝承を大切にして欲しい。

（２）このPBL授業に企業講師として参加して良かったと思いますか？



（人）

そう思う	16
まぁそう思う	1
あまりそうは思わない	0
思わない	0
計	17

【その理由をお書きください】

■仕事への好影響
・子どもたちの前で講話をしたりアドバイスをする、という経験が初めてだったため、非常に良い経験となりました。
・今後職場の意識改革につなげたい。
・生徒、講師等参加者全員が多くの気付きを得たのでは？
・子供達の斬新なアイデアをいただけて、協力しながら頑張っているようすが私自身も初心を思い出すことができました。

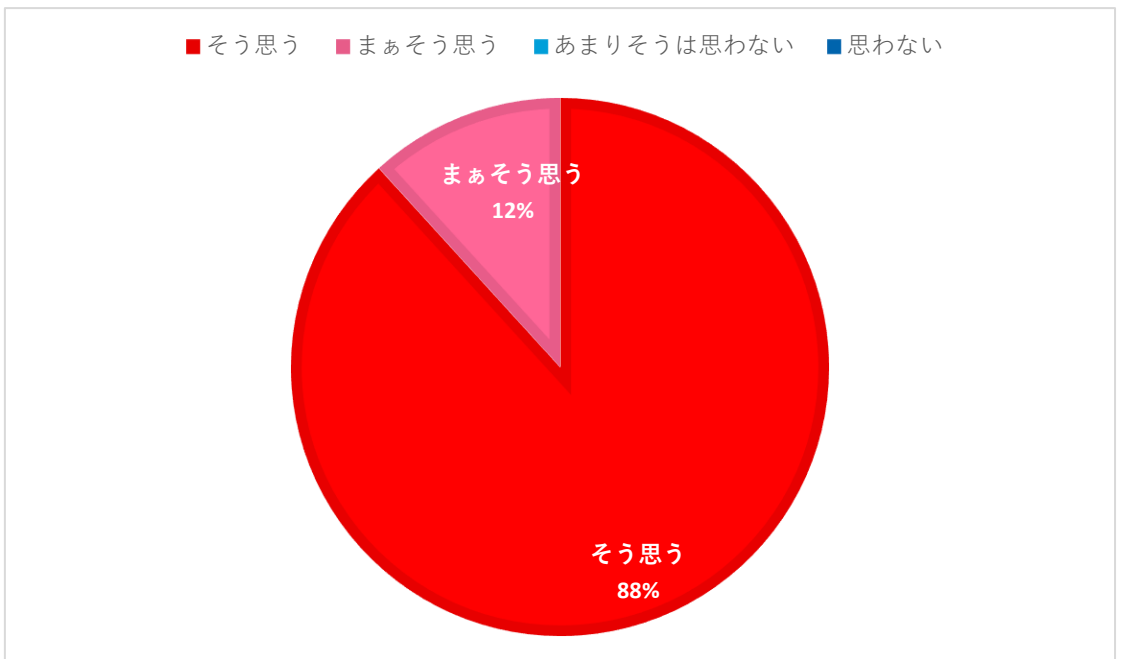
■生徒理解
・気づきがたくさんあった。うまく言葉にできないけど、自分が参加前に考えていた中学生のイメージと実際には少し差があったような気がする。
・子ども達の考え方など、取り組む様子や自分事に変わる場面、協働して課題解決するところを見れた。
・企業の悩み解決を直に考えてもらえ良い案を教えて頂いた。それよりも、子ども達の無限の可能性を感じる事ができた。

・中学生の溌剌とした姿を目の前で見ることができ、刺激になりました。
■自己研鑽
・講師をすることによって、私自身もいろんなことを学べたため。
・自分自身の勉強になる。
・中学生の溌剌とした姿を目の前で見ることができ、刺激になりました。
■企業PR
・生徒の皆さんにNPO活動をPRすることができたから。また、プレゼンを聞くことで中学生の可能性を感じることができたから。
・新たな視点、意見、お仕事説明会。
■子どもたちの成長
・子供たちの視野拡大と今後の成長の一役立てた思うから。
・教育の一環として関われたこと。

（3）今回のPBL授業を振り返って、印象に残っている事は何ですか？

■子どもたちの可能性
・子どもたちの無限の可能性に触れることができたこと。この短期間で予想をはるかに上回る内容の濃いプレゼンができることに驚き、感動しました。
・1回目、2回目、3回目と会うたびに距離が近づき交流が深まった感覚が印象に残っています。また、中間発表から最終発表の完成度の高さが全チームとも感じられたこと。
・成長と進化。
・中間発表から最終プレゼンの伸び率。全チーム努力をした結果が見える内容で感動した。
・中学１年生がインプットしたものをきれいにアウトプットができていたと感心した。
・回を重ねる度に子供たちが成長する瞬間を見れたこと。
・生徒の表情が変わっていくところ。
■子どもたちの柔軟性
・生徒一人ひとりのプレゼンの能力の高さと、課題に対しての取り組みの速さ。
・大人はものごとを構成立てて納得しようとするのに対し、子供たちは素直で、感覚的にやっているんだけど、それが案外、的を得ているのが面白かった。
・子ども達の柔軟性、子ども達の素直さ、みんなで取り組む事の大切を学ばせてもらった。
・質問に臆せず応える中学生の姿が印象に残っています。
■生徒の取組む態度
・真剣に取り組んでいる姿。
・生徒同士のやり取り中で、素直に疑問や意見をぶつけ合うところを見て、新しいものを生み出す大切な過程に気づかされました。
・素直で生き生きした子供達のようす。
・生徒の目が輝いていた。

（4）この授業で子供たちに身につく力が社会に出た時に有効だと思いますか？



（人）

そう思う	15
まぁそう思う	2
あまりそうは思わない	0
思わない	0
計	17

【具体的にどのような点が有効だと思いますか？】

■課題解決の思考・手順

・正解のない課題の解決策をグループで考えて発表する点。試行錯誤の過程も実際の仕事では起こることなので、勉強になると思います。
・みんなで課題解決に取り組むこと。
・考えるちから　解決するちからが身に付くと思う。
・社会に出た時の基礎的部分に触れている。アクションを起こす前の行動や考え方、チームワーク。
・課題解決に向けた取組みをしたこととチームで参加したことでその分野で不得意な人もやり方を見れたこと。
・考えることに価値があると思う。自分が中学生のころは、親以外の大人と関わる機会がなかった。だから社会のことを考えることもなかった。こうして実際のビジネスのことを少しでも考えるきっかけがあれば、ものの 見方が少し変わるんじゃないかと思う。

■PBL授業継続の必要性

・来年、再来年と継続し、授業に取り入れてもらうことが有効だと思います。

■コミュニケーションスキル

・「相手の立場から考えを整理して企画する」多くの業種や、対人関係で必要なコミュニケーションスキルだと考えます。
・外部の大人を相手に、チームで考えたことを論理的に発表することや、厳しい意見にさらされながらめげずにミッションを達成する点。
・人前でのプレゼンの仕方や、一つの課題に対しての発想力。

■チームワーク

・”相手（顧客）の為に一生懸命チャレンジし続ける”、”チームで協力して目標を達成する”
・チームワークを作れば、解決できる糸口が見つかる可能性を感じてもらえたと思う。その経験をしているかしていないかで、周りの人とのコミュニケーション力や、相手の意見を尊重し、自分の意見を伝える力を養えたと思う。
・他者の意見を認め、協働していく力。
・協力して一つの課題に取り組む経験はとても有意義である。

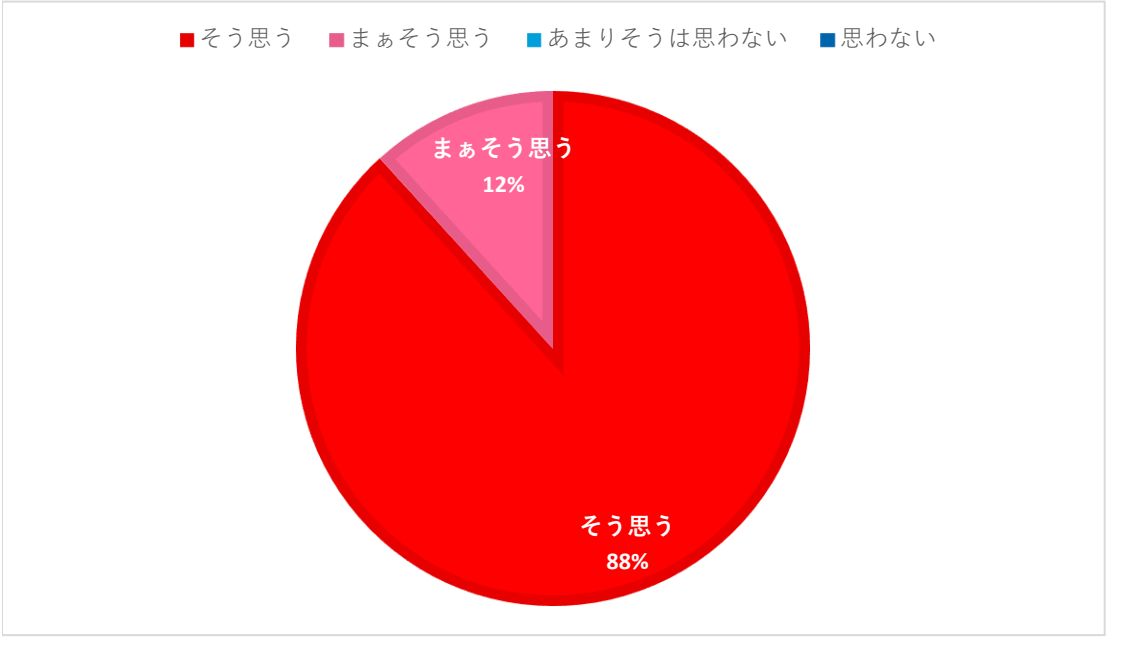
■自発性

・「自発性」を体験できた。そこに人間力の根源があるのでは。

■PBL授業そのもの

・ＰＢＬ授業自体が仕事の流れと同じだと思うので有効だと思います。

（5）このPBL授業を続けていくことが糸満市の地域活性化に寄与するものだと思いますか？



（人）

そう思う	15
まぁそう思う	2
あまりそうは思わない	0
思わない	0
計	17

【その理由についてお書きください】

■多様な大人との関りの重要性

・自らの知識、経験、すべてを動員し、仲間と力を合わせ、まわりの大人たちから知恵（情報）を借り、総合力で問題解決にあたる。その試みは、一生の財産になると思う。人間が育つことで地域は発展する。
・子供たちは、可能性の塊です。出会いや触れ合うことで、どんな子供でも何者になるかわからないので。
・色々な企業、地域人材との関わりが持てる。
・個人的にはこれからの社会は多様性をいかに育むかだと思っている。授業だけではない、いろいろな経験をつむという意味で、PBL授業には大きな価値があると思う。
・中学生の段階で、先生や親以外の大人である社会人の方々と触れ合うことで、視野が広がると思う。

■学校教育と企業の連携

・糸満市の企業との交流があることによって、その企業に興味を持つ生徒さんが増えたり、自分が住んでいる地域で、企業を立ち上げたい人が増えるからです。
・若い子達の考えを企業で取り入れ小さな事から大きく発展できると思う。
・地域企業と学校とのつながりができること、世代間交流（地域の絆の醸成、地域愛を育む）。
・糸満市に育った子供たちのスキルにもなり、糸満市内の企業の課題解決のヒントや策になると期待しています。

■継続は力なり

・継続は力なり　　PBL授業こそこの言葉がぴったり合う。

・まだPBL授業が地域の活性化になるかは分かりませんが、続けた先に答えと改善策が見えてくると思うので、実際PBL授業を受けた生徒さんが社会に出た後も交流を持ち、一緒に取り組んでいけば必ず地域の活性化に繋がると思います。

■地域に関るきっかけに

・PBL経験がさまざま課題解決に直面した際の発言の自信に繋がり、地域に積極的に関わるきっかけになると考えます。
・社会に出て生き生きと活躍するための力がつくて思う。
・(4)の答えがあれば、よりスピーディーに物事の解決方法を見し出せると思う。また、より良い組織・物を作ろうと思うと考える

【企業講師アンケート結果より】

・全ての講師がPBL授業に参加して良かったと回答している。
その理由として「仕事への好影響」「自己研鑽」「企業PR」などが挙げられ、講師自身にもこの授業に参加することへのメリットがあったことが伺える。
また、３か月という期間生徒と関ることによって、生徒の成長を直に感じることができ、学校理解、生徒理解を深めることが出来たと考えられる。
「この授業で子供たちに身につく力が社会に出た時に有効だと思いますか？」の回答を見ると、全員が「有効である」と答えている。具体的にどのような点が有効だと思うかについて、キーワードとして「課題解決の思考・手順」「コミュニケーションスキル」「チームワーク」「自発性」などが挙がり、キャリア教育で育みたい力「基礎的・汎用的能力」と大きく被る。
また、全員がこのPBL授業の継続が糸満市の地域活性化の一助になるとの前向きな回答をしており、学校教育と地域企業が連携していくことの重要性を感じる。